

## 第18回 JCHO高岡ふしき病院地域協議会

日 時 令和6年2月15日(木) 15時30分～16時10分

場 所 JCHO 高岡ふしき病院2階会議室

各委員

医師会：一般社団法人 高岡市医師会監事

たみの医院 院長

民野 均(紙面協議)

行 政：高岡市福祉保健部健康増進課長・保健センター所長

竹田 裕子

利用者：社会福祉法人伏木会理事長

JCHO高岡ふしき病院支援の会 会長 山崎 泰邦

(以上、敬称略)

病 院：高岡ふしき病院 院長

高嶋 修太郎

同 副院長

宮崎 幹也

同 副院長

和田 攻

同 看護部長

諸江 由紀子

同 事務長

江川 登事務長進行

内 容

高嶋院長から、第18回地域協議会開催の挨拶があり、協議会の開催趣旨(独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第5条)により、高嶋院長が議長となり議事に入った。

### 1. 院長挨拶

本日は、ご多忙の中ご参集頂き誠にありがとうございます。この会議は独立行政法人地域医療推進機構法第20条にて定められた地域協議会です。医師会、医療行政、地域住民を代表する方々から広くご意見を伺い、地域のニーズに応えた病院運営に努めていきます。

### 2. 報告事項 JCHO高岡ふしき病院の現状と今後(院長)

スライドにて説明(省略)

### 3. 協議

(行政より)

看護師の確保も大きな課題であるとのことですが、看護学生の実習状況については如何ですか。実習校からの採用に繋げることは難しいですか。

(管理者より)

**【看護部長】**

今年度も従来通り、高岡看護専門学校、高岡福祉短期大学、富山県立大学からの実習受入れを行った実績となります。実習校からの採用は例年2～3名となりますが、今年は新卒採用がゼロでこんなことは初めてです。他の公的病院も人員確保に難渋しているようです。支度金をある程度準備しなければ確保が難しいような状況であり全国的にも看護師の人材確保には難渋しているような状況にあると聞いております。

**【院長】**

公的な資料によりますと、高岡医療圏は他医療圏に比較しても看護師は充足しているような実績ですが、現実はそうではないようです。

**【看護部長】**

単年度の移動が多いと思います。昔と異なり、今は自分に合った病院を見つけるまで、点々とし勤務先を幾度となく変わる看護師が多いような感じが致します。

**【事務長】**

高岡市は市の事業として、看護学生の奨学金制度はあるのですか。

(行政より)

高岡看護専門学校の学生に関しては、就学支援制度がございます。奨学金免除の要件として呉西地区6市(射水市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市、砺波市)の医療機関への就職となっており以前、私は3年前まで社会福祉課にいましたが、ほとんどの学生が、呉西地区6市の医療機関に就職しておりました。高岡市の公的病院への就職者が少ないということで、新卒者はどこに就職しているのか疑問に思います。

(管理者より)

**【看護部長】**

急性期を退職した看護職員はどこに就職しているのかを、他の公的病院の看護部長に確認した所、バーンアウトをしたのか施設系、特養、慢性期の機関へ就職しているといった状況と伺いました。

**【事務長】**

高岡市バージョンでの奨学金の事業についても検討して頂けますとありがたいです。

(行政より)

承知しました。一度持ち帰り所管課にて検討するよう申し入れます。

(管理者より)

**【看護部長】**

ハローワーク等の公共職業安定所からの紹介には費用がかかりませんが、職業紹介事業者ですと、紹介者の年収の3割近くが紹介報酬として支払わなければならない、病院にとっては非常に大きな負担となります。

(利用者より)

紹介者自身も自分の紹介に係りそのような大きなお金が動いていることは知らないでしょう。ですから、手軽に職業紹介事業者を利用している話をよく聞きます。

(管理者より)

**【事務長】**

他よろしかったでしょうか。山崎会長一言お願いいたします。

(利用者より)

今回の地震の対応については地域でも話題になっております。貴院は公的避難所ではありませんが、高台にあるということと、暖房も効いているということから、200名以上の地域住民が押し寄せたということは、本日の院長からのプレゼンを聞くまでは知りませんでしたが大変驚きました。それから、和田副院長が避難所にお顔出し頂き健康管理をして頂いたことについては、今回の地震に係る協議会においても大変有難かったとの意見が多く出たということをお知らせさせて頂きます。

それから、本年4月からの介護報酬の改定において、地域の医療機関との連携に要件を設けてそれがクリアできたら加算がつくというような内容があるということです。我々の立場からすれば、貴院を含めた医療機関は最後の砦となりますので、施設よりそのような連携の依頼等がございましたら、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

(管理者より)

**【院長】**

地域の施設との連携を強める意味で地域包括ケアネットワークを立ち上げた一方で、地域住民のご支援を頂きながら病院運営に努めていくことを目的に従前より『支援の会』がごございます。今後も皆様方と連携を強めて進んで参りたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力をお願いしたいと思います。

**【宮崎副院長】**

震災か1か月半を経過しても未だに後遺症や具合の悪い地域住民の方もお見え

になると聞いております。当院としてはそういった方々の治療を行うことも当然ですが、従来通りの地域に発信するような活動を今後も継続して行きたいと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

**【和田副院長】**

医療と介護の連携について、高齢者が多くなる中で、病院では看取りの問題が生じてきます。看取りといたしましても食事のとれない人達をどうするのかということが常に問題となっています。この場合は特養といった施設の職員、我々医療者、ご家族とで取り組んでいかなければなりません。これは、入院当初よりこのような場面を持ち込んでいく必要があると考えております。また、医療行為が必要な高齢者の引き受けについてもお願い出来ればと考えております。

もう 1 点は震災の事です、被災者のなかでも保健サービス等を十分に活用されていない方々も多く見ると聞いております。被災者の中には、中々自分から言い出せないで、そのまま疾病に繋がっていくような場合もあるため、そうならないような啓蒙する場面があればよいのかなと思います。震災からの復興には祭りのある場所が効果的と聞いています。伏木には幸いけんか山というお祭りがありますので、地元の若い方も話し合いに参加して頂き、復興に繋がっていただくと考えております。

(行政より)

伏木地区のサービス未利用者についての課題については、伏木の地域包括支援センターと共に活動を行い最終的にはサービス利用に繋げることができました。その後、特に被害の大きかった自治会については、全世帯を回らせて頂いたが、大きな課題としては傾いた家屋に係る後処理や、住人の身体的不調についての相談対応を行っているような状況です。

(管理者より)

**【看護部長】**

以前より地域にどんどん入り込んで連携を密にしております。昨年度摂食嚥下認定看護師を、ふしき苑さんに派遣させて頂き支援をさせて頂きました。嚥下の評価を適正に行い指導を行えば正しく摂食嚥下できるような方については当院を受診して頂くことで誤嚥性肺炎の予防について継続的に行っていきたいと考えております。震災の影響で退院調整が難しくなることが懸念されますが、この辺りもいろいろとご相談させていただくことになるかと存じますが併せてよろしく願い申し上げます。

**【事務長】**

コロナのワクチン接種についての確認ですが、軒並み顕著な減少傾向が見られ

ますがこれはどこの医療機関でもそうなのですか。

(行政より)

はい。同様の傾向となっております。コロナの罹患者がいることは間違いありませんので、市全体で週に 200 人程度の接種は行っているような状況となっております。

#### 4. その他

次回の開催予定日時の確認

日程：第19回 令和6年7月18日(木) 15:30～16:30

第20回 令和7年2月27日(木) 15:30～16:30

場所：JCHO高岡ふしき病院 応接室

#### 5. 閉会挨拶(宮崎副院長)

本日はお忙しい所ご参集頂きまして有難うございました。私は毎週訪問診療で伏木の街をまわっておりますがとても酷い状況であることはよく分かっております。その中でも少しずつですが復興に向けて地域住民の方々が努力されておられていることは非常に頼もしく思っております。病院としても1日も早く復興に向けて住民の皆様とともに一緒に歩んでいきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いしたいと思っております。本日はありがとうございました。